

一般社団法人 全日本建設技術協会

会長 大石久和

印省略

## 第642回建設技術講習会（上水道行政の課題・下水道行政の課題）の開催について

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本会は国土交通省・農林水産省はじめ都道府県及び市町村等に勤務する建設技術関係者約6万名をもって構成され、建設技術関係者の技術水準及び社会的地位の向上並びに建設技術関係者の連携・交流を図り、安全・安心で豊かな国土づくりに寄与する施策の円滑な推進及び良質な社会資本の整備・保全に資することにより、社会の発展と公共の福祉の向上に寄与することを目的とした一般社団法人です。

現在、わが国においては、東日本大震災や平成28年熊本地震等の自然災害が頻発しており、防災・減災等における国民の安全・安心の確保はもとより、社会資本の老朽化対策、ストック効果の最大化を図る効率的・効果的な社会資本整備の推進、i-Construction（建設現場の生産性向上）など、時代の要請に応えた施策の展開を図っていくことが重要となっており、国民生活に関わる幅広い分野を所掌し、現場に強い建設技術者は、技術力や企画・立案、説明力、交渉力、現場力など多様な資質の一層の向上が求められています。

本会の建設技術講習会は、公共事業に係る諸問題解決や実務の習得、最新情報の提供、現場力向上のための現場視察など業務に直接役立つ内容となっております。

このたびの第642回建設技術講習会では、上水道部門では最新の上水道行政施策（水道事業の基盤強化に向けた取り組み）、水道施設のアセットマネジメント、水道施設の耐震化、安全な水道水の供給などについて、下水道部門では最新の下水道行政施策、下水道施設のアセットマネジメント、下水道資源の有効活用、浸水被害軽減の取り組み、下水道のストック効果などについて学ぶとともに最新の情報を得ることを目的としています。本講習会は、公共事業の効率的かつ円滑な執行に寄与するとともに、職員の技術力等の向上に資するものと考えております。

以上の趣旨を御理解のうえ、本講習会を研修の場として活用され、貴職職員が多数参加されますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。

謹白

地方協会長 殿

一般社団法人 全日本建設技術協会  
会長 大石 久和  
印省略

## 第642回建設技術講習会（上水道行政の課題・下水道行政の課題）開催について

本協会事業について、平素よりご協力にあずかり厚く御礼申し上げます。

本協会では、平成30年2月21日(水)～23日(金)、奈良市において標記講習会を開催いたします。

この講習会は、上水道部門では最新の上水道行政施策（水道事業の基盤強化に向けた取り組み）、水道施設のアセットマネジメント、水道施設の耐震化、安全な水道水の供給などについて、下水道部門では最新の下水道行政施策、下水道施設のアセットマネジメント、下水道資源の有効活用、浸水被害軽減の取り組み、下水道のストック効果などについて学ぶとともに最新の情報を得ることを目的としています。

なお、本講習会は奈良県・奈良市の共催(予定)、国土交通省の後援のもと実施することとしています。

①会場及び日程：別紙日程表のとおり

②聴講料：

区分	一般 (非会員)	会員		
		正会員	特別会員	賛助会員
通常料金	18,400円	13,400円	13,400円	13,400円
奈良県内の国・県に勤務	13,400円	2,000円	2,000円*	—
奈良県内の市町村に勤務	2,000円	0円	—	—
30歳未満	18,400円	2,000円	—	—
学生	0円	—	—	—

\*特別会員は、開催県内勤務または在住の者

※聴講のみの参加は可能です ※昼食の斡旋はありません

※30歳未満の正会員及び地元割引価格(2,000円)で参加の場合、取り消しはできません

※一般/会員の確認をしますので、申込み区分を間違えないようにして下さい

③現場研修料：7,000円〔うち昼食代1,200円〕 ※現場研修のみの参加はできません

④申込方法：申込書に必要事項を記入し、申込金〔銀行振込の控え〕を添えて期限までにメール又は郵送にて全建事務局までお申込み下さい。  
※会場でのお支払い等のご遠慮願います。

⑤申込書送付先：(一社)全日本建設技術協会 事業課 Mail: [kensyu@zenken.com](mailto:kensyu@zenken.com)  
〒107-0052 東京都港区赤坂3-21-13 ヒューリック赤坂ビル7F  
TEL: 03-3585-4546 FAX: 03-3586-6640

⑥振込銀行口座：三菱東京UFJ銀行 赤坂見附支店 普通 0311142  
口座名義：シャ)ゼンニホンケンセツギジュツキョウカイ  
※必ず、お振込人名義(協会名)の前に、開催回数の「642」をつけ加えて下さい。  
※振込手数料はご負担願います。

⑦申込締切日：平成30年2月2日(金) 必着(締切日以降に到着したものは受理できない場合があります)

※申し込みの取り消しについては下記のように処理いたします。講習会終了後に所属協会指定口座へご返金いたします。なお、振込手数料を差し引いた金額をお振込させていただきます。

①	平成30年2月9日(金)までの取り消し	聴講料、現場研修料の全額を返金
②	平成30年2月16日(金)までの取り消し	聴講料、現場研修料の半額を返金
	上記②を過ぎてからの取り消し	返金できません

※テキスト及び聴講料・現場研修料の領収書は当日受付にて、受講証は講義終了後にお渡しいたします。

※事故防止のため自家用車での参加はご遠慮願います。特に、現場研修時は一切お断りいたします。

本講習会は、「全建CPD(継続教育)制度」及び「CPDS」の認定講習会です。

【聴講/現場】全建：8単位/3単位、CPDS：(未定)/(未定)

講習会情報については、全建ホームページもご覧ください。 <http://www.zenken.com/>

## 第642回建設技術講習会(上水道行政の課題・下水道行政の課題) 日程

～上水道行政及び下水道行政施策の最新情報と重要施策の具体の取り組み事例などを学ぶ～

(上水道) 最新の上水道行政施策(水道事業の基盤強化に向けた取り組み)、水道施設のアセットマネジメント、水道施設の耐震化、安全な水道水の供給 など  
(下水道) 最新の下水道行政施策、下水道施設のアセットマネジメント、下水道資源の有効活用、浸水被害軽減の取り組み、下水道のストック効果 など

《参加者/全国官公庁に勤務する建設関係職員300名程度(地方自治体職員9割)》

会場 …… 奈良春日野国際フォーラム 薨～I・RA・KA～

【合同/(2日)下水道】レセプションホール1

【(2日)上水道】 会議室1・2

〒630-8212 奈良市春日野町101 TEL0742-27-2630(代)

(1日目)	開場11:40	平成30年2月21日(水)【合同】レセプションホール1	(敬称略)
12:40	あいさつ	奈良県知事 奈良市長 (一社)全日本建設技術協会 常務理事	荒井正吾
13:00			仲川げん男 秋山幸男
13:00	水環境改善に向けた取り組みについて	(国研)土木研究所 水環境研究グループ 首席研究員	小川文章
14:00			
14:10	目標管理型災害対応と受援のあり方	名古屋大学減災連携研究センター 准教授	平山修久
15:10			
15:20	【地域事業の紹介①】 農業集落排水施設の単独公共下水道 (月ヶ瀬処理区)への統合計画	奈良市企業局管理部下水道計画管理課 課長	多田淳司
15:40			
15:40	【地域事業の紹介②】 県域水道一本化の目指す姿と方向性	奈良県水道局業務課 課長	浅田宏行
16:00			
16:00	【地域事業の紹介③】 平城宮跡歴史公園“朱雀門ひろば”の開園について	奈良県県土マネジメント部まちづくり推進局 平城宮跡事業推進室 室長	志茂佳成
16:20			
「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」 <希望者のみ> (18:00～19:30(予定))		ホテルフジタ奈良 1階「ガーデンルーム」 TEL0742-23-8111	
(2日目)	開場 9:00	2月22日(木)【下水道部門】レセプションホール1	(敬称略)
9:40	最近の下水道行政について	国土交通省水管理・国土保全局下水道部 下水道企画課 課長補佐	末久正樹
10:40			
10:50	下水道による浸水対策の取り組みについて	国土交通省水管理・国土保全局下水道部 流域管理官付 水害対策係長	二川卓矢
11:50			
13:00	下水道資源の有効利用について	国土交通省水管理・国土保全局下水道部 下水道企画課 資源利用係長	土屋美樹
14:00			
14:10	東日本大震災における南蒲生浄化センターの復旧について	仙台市建設局下水道事業部 南蒲生浄化センター 所長	加藤公優
15:10			
15:20	下水道における最新の技術開発動向について	日本下水道事業団技術戦略部 次長	白崎亮
16:20			
16:20	閉会のあいさつ	奈良県建設技術協会 会長 (奈良県県土マネジメント部 まちづくり推進局長)	金剛一智
(2日目)	開場 9:00	2月22日(木)【上水道部門】会議室1・2	(敬称略)
9:40	水道法改正に向けて ～水道行政の現状と今後のあり方～	厚生労働省医薬・生活衛生局水道課 課長補佐	出口桂輔
10:40			
10:50	水道におけるアセットマネジメント、IoTを活用 した取り組みについて	厚生労働省医薬・生活衛生局水道課 復興第二係長	堀田卓
11:50			
13:00	水道水質管理の最近の動向について	厚生労働省医薬・生活衛生局 水道課水道水質管理室 係長	田中美奈子
14:00			
14:10	平成29年7月九州北部豪雨に伴う被災地への支援について	北九州市上下水道局水道部配水管理課 課長	穴井光明
15:10			
15:20	現場における危機管理 ～事故防止と技術の継承に向けて～	(公社)日本水道協会 工務部技術課 技術専門監	田口恒夫
16:20			
16:20	閉会のあいさつ	奈良市建設技術協会 会長 (奈良市建設部長)	杉野高広
(3日目)	集合 7:45～	2月23日(金)【現場研修】	(敬称略)
JR奈良駅西口(8:15)出発			
→ JR奈良駅周辺整備事業(下車説明)		→ 奈良県桜井浄水場(下車説明)	
→ 奈良県浄化センター(下車説明)		→ 昼食(奈良市内)	
→ 平城宮跡歴史公園事業(下車説明)		→ JR奈良駅(15:00)近鉄奈良駅(15:15)着後解散	
※解散時刻は道路混雑等の交通事情により多少超過する場合がありますので予めご了承ください。			
※講習会日程・現場研修は都合により、講師・講義内容・現場研修コースなどに変更が生じる場合があります。			
全建CPD(継続教育)制度・CPDS認定プログラム(予定) 【聴講/現場】全建：8単位/3単位、CPDS：0ユニット/0ユニット			

## 第642回建設技術講習会 現場研修事業の概要

### 1. JR奈良駅周辺整備事業

..... 奈良市三条本町他

- ・1998年に古都奈良の文化財が世界遺産に指定され、2010年には平城京遷都1300周年を迎えた。
- ・近年では観光政策の強化により、インバウンドを中心とする観光客も増加しており、古都奈良の魅力を世界に向けて発信することが重要。
- ・美しい都市景観の形成と併せ、まちの賑わい形成や活性化を加味した個性あるまちづくり、国際競争力の高いまちづくりを推進。
- ・玄関口であるJR奈良駅東口駅前広場の整備は、「都市計画道路 奈良橿原線」の整備の一環で実施。
- ・連続立体交差事業により、JR奈良駅の旧駅舎は地元要望により保存の為に駅舎を一部解体せずに移設する「曳家工事」を実施し、奈良市総合観光案内所として利用。
- ・整備の基本方針は「古の歴史・風土や観光」、「中心市街地の賑わい形成・活性化」、「奈良町衆の生活・コミュニティ形成」とし、『もてなしの心のある街路景観』モデルを形成。



### 2. 奈良県桜井浄水場

..... 桜井市初瀬

- ・桜井浄水場は、奈良盆地の南東に位置し、室生ダムから取水し、最大で102,000m<sup>3</sup>/日を奈良市等へ給水。
- ・生物接触ろ過を導入しており、微生物の働きによるマンガン・アンモニア性窒素等を除去し、安全で安心な飲み水を提供。
- ・桜井浄水場では平成22年に接合井と原水貯留池との標高差を利用した小水力発電システムを導入。年間発電量は約156万kWhで、桜井浄水場の使用電力の約40%を賅っている。



### 3. 奈良県浄化センター

..... 大和郡山市額田部南町

- ・浄化センターは大和川と佐保川の合流部に立地し、奈良県の人口の半分近いおよそ61万人分の汚水を処理し大和川へ放流している。
- ・高度処理施設を導入し、全国的にも水質が良くなかった大和川の水質改善にも寄与している。
- ・汚泥処理の過程で発生するメタンガスの有効利用も実施。
- ・処理施設の周囲には、四季折々の植栽を施した緩衝緑地帯や多目的な利用が可能な自由広場を整備した。また、競技用プールや野球場、テニスコートなどの運動施設や、家族連れで楽しめるこども広場、ファミリープールなどを備えた都市公園「まほろば健康パーク」も立地している。



### 4. 平城宮跡歴史公園事業

..... 奈良市佐紀町他

- ・国営平城宮跡歴史公園は、特別史跡で、世界遺産「古都奈良の文化財」の構成資産の一つ。
- ・我が国を代表する歴史・文化資産である平城宮跡の一層の保存・活用を図ることを目的として、平成20年度に事業化された国営公園。
- ・古都奈良の歴史的・文化的景観の中で、平城宮跡の保存と活用を通じて、“奈良時代を今に感じる”空間を創出する。
- ・一つの公園として都市計画決定を経た後に、国と奈良県を中心とした地元が連携し、整備する公園。
- ・2010年に実施した「平城遷都1300年祭」のメイン会場として使用。
- ・平成30年3月24日開園予定。



## 第642回建設技術講習会の宿泊斡旋及び予約申込案内

宿泊斡旋：宿泊希望者には奈良市内のホテルを下記のとおり斡旋いたします。

なお、宿泊代金につきましては、ホテルチェックイン時に全額お支払いください。

宿泊予約申込：別紙申込書に必要事項を記入し、全建事務局にお申し込み下さい。

問い合わせ先：西鉄旅行㈱ 首都圏営業部 東京支店 TEL:03-6742-0324 FAX:03-6742-0328  
〒113-0033 東京都文京区本郷3-10-15 (JFAハウス5階) 「全建担当デスク」迄  
申込後の宿泊予約の取り消しや変更については、上記までご連絡下さい。

※取り消しについて

宿泊日の前日から起算してさかのぼって		当日 (宿泊開始前)	宿泊開始後及び 無連絡不泊
4日前まで	3～1日前(前日)		
無料	宿泊代金の20%	宿泊代金の80%	宿泊代金の100%

土日祝日及び営業時間外でのキャンセルの場合は、翌営業日での取り扱いとさせていただきます。  
取消料に関しましては、ご本人様へご連絡の上、ご請求させていただきます。

### 斡旋する宿舎名、宿泊料

平成30年2月20日(火), 21日(水), 22日(木)

(1泊朝食付、サービス料・消費税含む)

宿舎名	所在地・電話番号	部屋タイプ	宿泊人数	宿泊代金
スマイルホテル奈良 (旧サンホテル奈良)	奈良市三条本町4-21 Tel.0742-25-2111	シングル	40名	7,350円

※禁煙・喫煙の希望を承ります。空室状況により消臭対応となる場合がございます。予めご了承下さい。

※宿舎が決定次第、西鉄旅行㈱より「宿泊案内」が送付されます。

### 案内図



## 第642回建設技術講習会に参加の皆様へ！

### 「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を開催します



(一社)全日本建設技術協会では、技術者の連携・交流を図るため「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を実施しています。これは、全国から本会講習会にご参加いただく方々の情報交換・意見交換や交流の場として活用し、また講演いただく講師の方にもご参加いただき、質疑応答や交流をはかる場としています。

ぜひ皆様のご参加をお待ちしています。

日時：平成30年2月21日(水) 18:00～19:30(予定)  
(第642回建設技術講習会 1日目講義終了後)

場所：ホテルフジタ奈良 1階「ガーデンルーム」(予定)

会費：2,000円(講習会受付時に徴収)

※参加希望の方は申込書の「交流会」欄に○印を記入して下さい。

※この交流会は会費制です。

※参加される方は必ず名刺を持参して下さい。

※立食パーティ形式でご当地グルメ等を用意しています。

※開催場所・時間等が変更になる場合があります。その際は講習会場にてご案内いたします。

※服装については特に問いません。



#### 【交流会・意見交換会に参加予定の講師】

- |                                  |          |
|----------------------------------|----------|
| ・(国研)土木研究所水環境研究グループ 上席研究員        | 小川 文章 講師 |
| ・中央大学総合政策学部 教授                   | 平山 修久 講師 |
| ・国土交通省水管理・国土保全局下水道部下水道企画課 課長補佐   | 末久 正樹 講師 |
| ・国土交通省水管理・国土保全局下水道部流域管理官付 水害対策係長 | 二川 卓矢 講師 |
| ・厚生労働省医薬・生活衛生局水道課 課長補佐           | 出口 桂輔 講師 |
| ・厚生労働省医薬・生活衛生局水道課 復興第二係長         | 堀田 卓 講師  |
| ・厚生労働省医薬・生活衛生局水道課 水道水質管理室係長      | 田中美奈子 講師 |

※講師の都合により変更になる場合があります。



1. 講習会の参加者同士の交流促進をはかる
  - ①参加者の知見と人脈を広める(名刺交換)
  - ②意見交換・情報交換
2. 参加者と講師との交流・懇談
  - ①講師との交流
  - ②質疑応答など
3. 地元協会による催し(予定)

※都合により内容に変更が生じることもあります。

<問合せ>



(一社)全日本建設技術協会 事業課 講習会担当  
TEL 03-3585-4546 MAIL kensyu@zenken.com

2会場となりますので、部門別の欄も必ず記入してください。

平成 年 月 日

一般社団法人 全日本建設技術協会 殿

協会名 \_\_\_\_\_  
(特別・賛助会員名、会社名)

### 第642回建設技術講習会（上水道行政の課題・下水道行政の課題）申込書

<個人情報の取扱いについて>

申込書に記載された個人情報については、参加者が円滑に講習会に参加できるよう連絡等に使用させていただくほか、宿泊機関等の手配及びそれらのサービスの受領手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。

参加者		勤務先 (所属課名まで記入のこと)	聴講者別			部門別		現場研修	交流会	宿泊申込		
(フリガナ) 氏名 (女性は番号に○をつけて下さい)	年齢		(非会員)	会員	正会員 30歳未満	上水道	下水道			予約日に○を記入して下さい		
									2月 20日	21日	22日	
1												
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
<b>聴講料</b> ※一般/会員の確認をします。申込み区分を間違えないようにして下さい。 一般(非会員) 名×18,400円＝ 円 会員(正会員・特別会員・賛助会員) 名×13,400円＝ 円 正会員(30歳未満、地元) 名×2,000円＝ 円 ※正会員(30歳未満)とは、全国の30歳未満の「正会員」 ※正会員(地元)とは、開催県内に勤務する「正会員・特別会員」(賛助会員除く)									現場研修の昼食は不要の申し出はできません※			
<b>現場研修料</b> 名×7,000円＝ 円												
計 円												

↓全建に振込

**【お申込み時の注意について】**

正会員(30歳未満)でお申込みの方は必ず年齢をご記入ください。

**【お申込みについて】**

必要事項を記入し、申込金[銀行振込の(写)]を添えて期限までになるべくメール又は郵送にてお申込み下さい。

**【変更・取り消し・追加方法について】**

電話での受付はいたしません。また、30歳未満の正会員及び地元割引価格で参加の場合、キャンセルはできません。本紙に、変更・取り消し・追加箇所がわかるようにご記入いただき、「再送」と明記の上、メール又はFAXをお送り下さい。取り消しをする際には開催案内に記載しているキャンセル料がかかります。

**【聴講時の昼食について】**

昼食の斡旋はありません。

**【現場研修時の昼食について】**

現場研修については行程の都合上、全員の昼食の用意をします。不要の申し出はできませんのでご了承下さい。

宿泊代金は、ホテルチェックイン時に全額お支払いください。  
禁煙・喫煙の希望がある場合には、「○禁」、「○喫」のように記入してください。